



三井不動産 株式会社 (東京都中央区)

贈呈理由: 「環境との共生」を目指した大型ビル・商業施設における蓄熱システムの採用



ららぽーと柏の葉

都市に豊かさと潤いをもたらすために 大型商業・複合施設に次々と採用

環境・コミュニティ、文化や歴史との共生・共存ができる街づくりを目指して、オフィスビルやショッピングセンターの開発を続ける三井不動産株式会社。1981年にオープンした郊外型の大型商業施設「ららぽーと TOKYO-BAY」に始まる「ららぽーと」シリーズや2007年3月に六本木に開業した東京ミッドタウンなど、三井不動産は常に時代を先取りし、新しい日本の価値を発信している。

05年7月、歴史・文化を残しながら日本橋地区の新しい街づくりを両立させるというコンセプトのもとに、地上39階、地下4階の超高層ビル「日本橋三井タワー」を誕生させた。1993年に国の重要文化財に指定された三井本館(東京都中央区)に隣接して建つこのタワーには、オフィスフロアの空調設備にブラインターボ冷凍機(製氷能力1,371kW×2基)と地下ピットに設けられた蓄熱槽(779m³)で構成するエコ・アイスを導入している。

06年11月に誕生した「ららぽーと 柏の葉」(千葉県

柏市)においても、空冷ブラインヒートポンプチラー(製氷能力588kW×4基)と蓄熱槽(82m³×4基)によるエコ・アイスを導入している。この「ららぽーと 柏の葉」は、大型商業施設においては珍しい屋上農園があるなど「環境・健康・循環」をテーマにした施設で自然と環境の共生という時代のニーズに応えている。

東京ミッドタウンにも

07年3月、六本木にグランドオープンした「東京ミッドタウン」は、全国共済農業協同組合連合会・明治安田生命保険相互会社・積水ハウス株式会社・富国生命保険相互会社・大同生命保険株式会社とのコンソーシアムから、三井不動産がプロジェクトマネジメントを受けて



日本橋三井タワー



東京ミッドタウン

開発した。10haもの広大な敷地には緑が溢れ、オフィスビルやラグジュアリーホテル、最高級賃貸住宅、「都市の上質な日常」をテーマにテナント構成される商業施設や美術館、医療施設などが集積している。

この東京ミッドタウンには、高効率ターボ冷凍機(4,922kW×3基)と7,800m³の蓄熱槽が設置され、ミッドタウンフロント棟、タワー棟、イースト棟、ウエスト棟の快適な空調を実現している。

デザインとアートの切り口からも、日本の新しい価値や感性、才能を創造、結集し、世界に発信し続ける街を目指している。

DATA

日本橋三井タワー

■建築概要
所在地: 東京都中央区日本橋室町2-1-1
建築設計: (株)日本設計
建築施工: 鹿島・清水・三井住友・錢高・東レ・佐藤 共同企業体
設備設計: (株)日本設計
設備施工: 鹿島建設(株)
延床面積: 133,000 m²
竣工: 2005年

■蓄熱設備概要
エコ・アイス(セントラル)
熱源機: ブラインターボ冷凍機
1,371kW(製氷時)×2基[日立製作所]
蓄熱槽: 779m³×1基(スタティック)

ららぽーと 柏の葉

■建築概要
所在地: 千葉県柏市若柴175
建築設計: 三井住友建設(株) 一級建築士事務所
建築施工: 三井住友建設(株)
設備設計: 三井住友建設(株) 一級建築士事務所
設備施工: 三井住友建設(株)
延床面積: 144,517 m²
竣工: 2006年

■蓄熱設備概要
エコ・アイス(セントラル)
熱源機: 空冷ブラインヒートポンプチラー
588kW(製氷時)×4基[東芝キヤリア]
蓄熱槽: 82m³×4基(スタティック)
NAS電池: 2,000kW×1基[日本ガイシ]

東京ミッドタウン

■建築概要
所在地: 東京都港区赤坂9丁目(防衛庁跡地)
建築設計: (株)日建設計
建築施工: 竹中・大成建設工事共同企業体
大成・竹中建設工事共同企業体
設備設計: (株)日建設計
設備施工: 竹中・大成建設工事共同企業体
大成・竹中建設工事共同企業体
延床面積: (オフィス) 311,200 m²
(商業施設) 71,000 m²
竣工: 2007年

■蓄熱設備概要
水蓄熱式空調システム
熱源機: ターボ冷凍機 4,922kW×3基[三菱重工業]
蓄熱槽: 7,800m³×1基
NAS電池: 750kW×1基[日本ガイシ]